News Release　　2015 年 6 月 11 日

記録製品事業からの撤退について

太陽誘電株式会社（代表取締役社長：綿貫　英治、本社：東京都台東区）は、このたび記録製品事業から撤退することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

(1) 事業撤退の背景と理由

当社は、1988年のCD-R開発以来、CD-R、DVD-R、BD-R等の光記録メディアを事業のひとつとして推進してまいりました。その間、海外メーカーの台頭による競争激化等もありましたが、高品質な製品を市場に供給し、安心して使用できる日本製の光記録メディアとして多くのユーザーから高い評価をいただいております。

HDD（ハードディスクドライブ）の大容量化やクラウドコンピューティングの普及に伴い、光記録メディア製品の市場は縮小を続けています。このような状況に対応するため、当社は原価低減の加速、生産性の向上およびアーカイブビジネスの推進などを進め、収益性の改善に努めてまいりました。しかしながら、想定を超える市場の縮小、および原材料価格の高騰等の影響により、さらなる収益改善は困難な状況であると判断し、記録製品事業からの撤退を決定いたしました。

今後は、電子部品、特に当社の成長戦略の要であるスーパーハイエンド商品に経営資源を集中して事業構造を変革し、収益体質の改善に取り組んでまいります。

(2) 今後の見通し

①スケジュール

2015 年 12 月末をもって記録製品の販売を終了する予定です。

②業績への影響

事業撤退に伴う業績への影響については、現時点において軽微と考えています。

以上